

---

# S . O . S . ~ 沢木香穂里お題小説集 ~

聖騎士

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

S・O・S ～ 沢木香穂里お題小説集～

### 【コード】

N6401X

### 【作者名】

聖騎士

### 【あらすじ】

沢木香穂里さんから出されるお題を200文字小説で書いてみました。

「S（沢木香穂里）・O（お題）・S（小説集）」です。

1 保険天国。保障が服を着て歩く。(前書き)

お題：【保険天国。保障が服を着て歩く。】

## 1 保険天国。保障が服を着て歩く。

国民相互保険が施行されて十年。この国はよい国になった。国民が死ねば国庫から葬祭費がすべて捻出され、遺族への補償も十分に供与される。

医療費は百分、失業保険も次の職が見つかるまで今までと同じ補償金が支払われる。

本当によい国になった。

しかしそこに未曾有の大地震が襲いかかった。

倒壊した自宅を呆然と見上げる人々の元へ役人が現れる。

「復興費は一人頭百万円になります」

「もらえるのか？」

「いえ、支払ってください」

## 2 クリーミー選手権(前書き)

お題：【クリーミー選手権】

## 2 クリーミー選手権

「あらん」

「うぶん」

くねくねと身を捻らせた五十代の男性たちが、切れ込みも鋭いレオタードで惱ましいポーズで悩殺する。

「おおっと、ブルガリア代表が一步リード！ 乳首が立っています！ これは強烈だ！」

実況の絶叫がお茶の間を熱狂させる。

「この滑らかな動き、暫定一位の中国も内心穏やかではないでしょうね」

「しかし優勝候補の日本は余裕の表情です」

「国民全員が日頃から鍛えてますからね。政府の対応も常にクリーミーです」

3 祭は、まだ終わらない。(前書き)

お題：【祭は、まだ終わらない。】

### 3 祭は、まだ終わらない。

異星人たちの攻撃は苛烈を極め、地球の自然環境はすでに一変してしまっていた。

「大統領、もはや降伏すべきです」

総司令官が悲痛な表情で叫ぶ。大統領はしばらく瞑目し、次に目を見開いた時には強い意志の光を湛えていた。

「いや、我々人類の尊厳に懸けて徹底的に戦う。降伏してもヤツらの奴隷にされるだけだ」

「わ、わかりました。全艦突撃！」

通信を切ると、大統領は声押し殺して笑う。

「どれ、そろそろ仲間のところへ戻るか」

4 やさぐね看護師(前書き)

お題：【やさぐね看護師】

#### 4 やさぐれ看護師

「マミさん検温の時間です」

「ああ、適当に三十六度五分って書いていて」

「そ、そんな、それよりここは病院です。煙草はダメですよ！」

「別にいいじゃない。死ぬ時はなんだって死ぬんだから」

「そういう問題じゃありません！」

塵一つない綺麗なりノリウムの床を、爪先につっかけたナースシューズが踵を引き摺りながら歩いていく。

「そう、死ぬ時はなんだって死ぬのさ」

窓から立ち上った紫煙が一筋、青空にまっすぐと伸びていった。

5 歩き方が間違っていた。(前書き)

お題：【歩き方が間違っていた。】

## 5 歩き方が間違っていた。

結婚して二十年。

子どもももう独り立ちした。

今まで私は家族を支えるために必死になって働いてきた。

付き合い酒もほどほどに、レストランの波に抗い不況の嵐にも耐え抜いてきた。

郊外の庭付き一戸建てを三十年ローンで建て、中古の車も大切に買った。

ギャンブルなどには手を出してはいないし、ローン以外の借金もない。

浮気だつてしたことはない。

しかし目の前には妻に突きつけられた離婚届け。

どこで歩き方を間違ったのだろう。

6 鍋がうまい！（前書き）

お題：【鍋がうまい！】

## 6 鍋がうまい！

「うまい！」

「あらそう？ もっと食べてね」

彼女は料理上手だ。今夜のキムチチゲも野菜や肉に混じって、つみれやレバーなんかも入っている。手の込んだ鍋って愛情を感じるな。

「ね、このお肉どう？」

彼女は、いい具合に出汁の染み込んだ肉を小皿に載せる。

「うん、少し固めだけどおいしいよ」

「よかった！ 臭みを取るのに苦労したのよね」

「ところできみのお母さんどうしたの？ 今日留守？」

彼女はにこにこしながら、鍋を指さした。

7 早いのがとりえ(前書き)

お題：【早いのがとりえ】

## 7 早いのがとりえ

「ねえ」

「はい」

彼女は僕にビールを差し出す。

彼女のすごいところは僕の気持ちを察して、言う前からわかっているところだ。こういうのをツーカーっていうのかな。

「あの」

「明日は六時に退勤できるから、帰りに買ってくるわ」

どうして僕が秋刀魚を食べたいって、わかったんだろう。

「あのさ」

「出産は来年の三月よ。式場はもう予約してある。今度の日曜日、実家にいっしょに行きましょうね」

ええっ？

まだ手も握ってないのになんで？

8 再検査。ドキッ（前書き）

お題：【再検査。ドキッ】

## 8 再検査。ドキッ

「こちらに採ってきてください」

目盛りのついた白い紙コップが手渡される。

昨日が妻の治療日だったから、今日は僕の番だった。

不妊治療は憂鬱だ。

他人の放尿する音を聞きながら、トイレの個室で虚しく自分で採取する。

紙コップを看護師さんに提出した。

「次はこのカップに採取します」

「え？」

「再検査です」

看護師さんは上目遣いに僕を見る。

彼女は薄いルージユの引かれた唇から艶めかしい舌を出すと、上唇をぺろりと舐め上げた。

8 再検査。ドキッ（後書き）

微工口すみません（\*^|^\*）

## 9 ピクルスの夢（前書き）

お題：【ピクルスの夢】

## 9 ピクルスの夢

アメリカのとある田舎町の片隅に佇む小さな家。

そのリビングで、一組の親子が深刻な顔で話し合いをしていた。

「もう学校なんか行きたくない。いじめられてばかりだし。自分が嫌でしようがないんだ。違う自分に生まれ変わりたい！」

「そんなこと言うもんじゃない。お前は父さんの自慢の息子なんだから」

父親は炭坑で鍛えられた逞しい胸に、息子のくすんだ金髪を抱き寄せる。

「父ちゃん、なんで僕にピクルスなんて名前つけたの？」

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n6401x/>

---

S . O . S . ~ 沢木香穂里お題小説集 ~

2011年10月22日02時20分発行